

	<h1>志木三小だより</h1>	志木市立志木第三小学校	
	<p>学校教育目標</p> <p>賢く 優しく 逞しく</p> <p>学校運営協議会スローガン</p> <p>「ともに愛そう わがまち わが学校」</p>	令和元年度 第12号	
			令和2年 2月3日
			志木市柏町3丁目2番1号
			TEL 048-471-1062
			児童数2月1日現在589名



## 鬼は外 福は内

校長 中平 仁

早いもので今年度も残すところあと2ヶ月となりました。まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では、まもなく「立春」を迎えます。「立春」とは、1年間を24に分けた時の二十四節気の第1にあたり、その日から立夏まで春が続きます。立春の前日は「節分」です。節分とは季節の分かれ目を指し、もともとは立春、立夏、立秋、立冬の前の日を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前だけを言うようになりました。立春とは、春が立つと書きます。初めて春の気配が現れるという意味です。また、中世の陰陽道では、年越しにあたる節分の夜は、1年の中で陰から陽へと秩序が最も変わる日とされ、このような日には、普段姿を隠している鬼や魔物が出現しやすいと考えられていました。豆まきは、それらを追い払うための行事です。そして、節分の日には、みんなが健康で幸せに過ごせますように・・・という願いを込めて、豆まきの後、自分の年より一つ多くの豆を食べます。（地方によって数が異なる場合があります。）



遠く秩父の	峯を呼ぶ
志木三小の	よろこびよ
風に 嵐に	耐えぬく強さ
方あふれて	冬越えて
愛の未来へ	いま 巣立つ



この季節は空気も澄み渡り、中央校舎の3階の廊下からは、富士山や秩父の山々がよく見えます。山々を見ていると校歌の3番が頭に浮かびます。誰にとっても冬は寒くて辛い季節です。「冷たい水で雑巾を洗って掃除したくない。」とか、「寒い外で体を動かしたくない。」といった自分自身の心の中の「鬼」を追い出してほしいと思います。子どもたちには、校歌に込められた思いを受け止めて、「風に嵐に耐え抜く強さや逞しさ」を身に付け、厳しい冬を乗り越えて、一回り大きくなって進学、進級してもらいたいと願っております。

Dai3, The school where greetings always come with a smiling face.